

八重瀬町の一大イベント 児童オリンピック



スポーツを通して体力と精神力を鍛える 児童同士の交流を深める

「スポーツを通して体力と精神力を鍛える」をテーマにした第4回八重瀬町児童オリンピック大会が5月17日、東風平運動公園で開催されました。この大会は、旧東風平町時代から毎年行われ昭和58年に東風平運動公園陸上競技場完成を記念してスタート。今では、児童や保護者をはじめ町の議会議員さんや区長さんなど関係者も含め約800人が参加する八重瀬町の大イベントになっています。児童たちの健康や体力づくりの向上を図るだけでなく、児童同士の交流も図れ、町の子どもの運営を円滑に進める重要な活動の一つです。

競技は、トラックとフィールドの部に別れ徒競走や100メートル走、リレー、高跳び、幅跳びなどが行われ、どの種目とも児童たちは精一杯に記録に挑戦していました。また、会場が埋まるほどに張り巡らされたテント内からは、保護者からの熱い応援があり児童たちを励ますとともに大会を大いに盛り上げました。





優勝したプリティーフェイスチーム



港川ハーレー

参加者と観客全員が楽しむまつり

漁民（ウミンチュ）の航海安全と大漁を祈願して
爬虫船競漕を行う港川ハーレーが5月27日、港川漁
港で開催されました。

港川ハーレーは、もともと港川に伝わる伝統行事
として行われていましたが、現在は町内外から選手
が参加する職域ハーレーや親善ハーレーが行われる
など参加者と観客全員が楽しむまつりとなっていま
す。ハーレー当日は、町内外から多くの参加者が集
い、野趣あふれるレースが展開され、漕ぎ手、舵取
り、鐘打ちが声を合わせて力強く漕ぐ姿に多くの観
客が熱い声援を送っていました。また、レース終了
後の午後からは、港川青年会主催による「全島奉納
角力大会」が行われ、県内から強者揃いが迫力ある
真剣勝負を見せ賑わいを見せていました。



上がりハーレー



太鼓を手に応援する港川のアンマーたち



県立南部工業高校 機械技術部

4時間耐久レースに出場

県立南部工業高校（赤
嶺研雄校長）機械技術部
が7月31日から行われる
「ドリームカップソーラー
カーレース鈴鹿2009」
に出場することが決定し
たことを受け、6月12日、
生徒及び学校関係者が八
重瀬町役場を訪問し、中
村信吉町長に報告を行
いました。

同レースは、太陽光を
エネルギーに周回数を競
う4時間耐久レースで、
企業や大学生も出場しま
す。一昨年に行われた同
大会で、南部工業高校は
49チーム中、31位の成績
でした。今回は、車体の
軽量化や空気抵抗を少な
くし、上位入賞を目指し
ています。中村町長から
は、「ソーラーカーは環境
にも優しく、将来的にも
実用化が期待できる乗り
物。町内の生徒の活躍が
大いに楽しみ」と激励し
ました。